

3期目に掲げた4つの約束の取りくみ状況

4つの項目を掲げて3期目をスタート。(2015年)

「北海道の自立」「学齢期からの起業家精神教育」などを調査する目的で、2015年10月に二週間にわたって視察したフィンランド、スウェーデン、イタリアでの学びはとても大きなものでした。

また、2018年は「北海道命名150年」の年もあり、4つの約束を踏まえつつ、2016年は『社会資本から文化資本へ』、2017年は『大きな社会問題を解決する小さな経済の力』、2018年は『遊び環境の保障と子ども参画の推進で拓く地域の未来』をキーワードに掲げ、成果をあげるために重点をしぼった活動展開を行ってきました。

約束1

北海道の未来をつくる 子どもたちのための子 育て支援

すべての子どもたちの可能性を活かす「遊び」環境の保障に重点 ⇒ 継続して取組み中

- ・北海道自治立志塾、北海道こども環境学会と連携し、遊び環境保障の条例案などの作成、発表に協力。
- ・自然保育、こども参画に関する公開学習会を、北海道議会内で開催。
(3期目の特徴は、道議会会議室による公開学習会の開催)
- ・上川管内での「森と自然を活用した子育ち」をテーマとした勉強会の開催に協力。
- ・白石区では乳児院ボランティアのコーディネートを継続(毎週月・水)。

約束2

悩みを抱える当事者こそが問題解決の主人公

一人ひとりの力を活かす地域の問題解決 ⇒ 基本的な政治姿勢として継続

- ・白石区内各地での「相談サロン」は、ほぼ毎月1回開催中。
(相談事例：中学校の部活動の外部指導者の必要性、アスベスト被害対策、自転車活用ルールづくり、子育て支援、若者と女性の起業支援、民泊推進など)
- ・浦河べてるの家の研究会や「べてるまつり」に参加継続中。
- ・北海道手話言語条例の早期制定に向け議会質問などで支援。

約束3

北海道の強みを活かす 産業政策、エネルギー 政策

食と農、観光、エネルギーで持続可能な地域再生

⇒ 大きな社会問題を解決する小さな経済の力をキーワードに、カフェや
ゲストハウスなど地域課題の解決につながる小さな起業支援に重点

- ・ゲストハウス開業塾への参加。
- ・自然学校開業研究会の開催。
- ・独立型太陽光発電の講座を白石区内で実施。

約束4

協働できる開かれた道 議会、道庁改革

政策の発生源の透明化、情報共有 ⇒ 住民自治の実現へ

- ・日本最大の政策コンテストとなった「マニフェスト大賞」の副実行委員長を務める。超党派の議員に議会改革の先進事例を情報発信。
- ・北海道ブロック研究会の開催も帯広、札幌2ヶ所で開催。
- ・北海道議会内で市民・行政・議員がともに学ぶ公開学習会を10回開催